

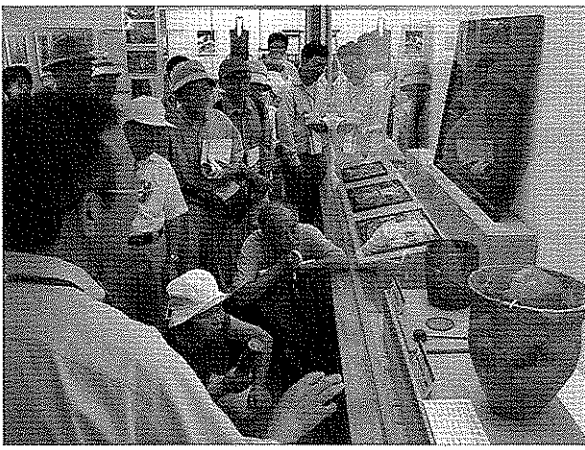
糸魚川市の文化財展

(平成20年7月11日～8月31日)

「文化財の周知と保護意識の高揚」
「糸魚川の文化情報発信」を目的に、
夏休み期間にあわせて「糸魚川市の文
化財展」を開きました。

展示品は、仏像や舞楽面などの「彫
刻」、古鏡や刀などの「工芸品」、土器
や大珠などの「考古資料」のほか、古
文書や書跡、歴史・民俗資料など34件、
市内初公開となる個人所蔵品も出品し
ていただきました。

開幕間もない7月13日の記念講演会
では、糸魚川市文化財保護審議委員会
会長の金子善八郎さんから、「伝える



展示解説会の様子 (8/5)

ということ―文化財展にあたって―」
と題して、市内の文化財の特色や状況、
今後の課題等についてお話ししてい
たきました。

また、8月5日には、長者ヶ原遺跡
やヒスイ峡、能生白山神社、フォッサ
マグナパークなどをめぐる見学会を開
催したほか、期間中3回にわたり展示
解説会を開きました。

解説 市内文化財の状況

ヒスイ製品や蛇紋岩製石斧の交易等
で古くから開けていた糸魚川。市内に
は、固有の優れた地域資源がたくさん
残っています。

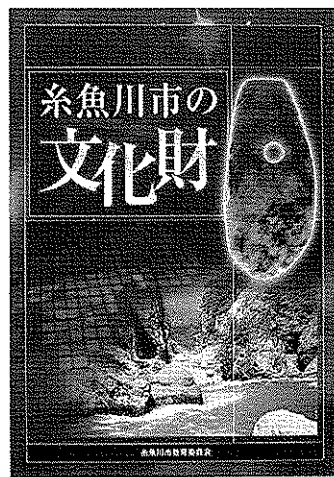
縄文人の営みを今に伝える遺跡群、
ヒスイ製品と奴奈川姫伝説、上杉謙信
から武田信玄への塩おくりの美談が残
る塩の道古道、ほかにも豊かな自然、
多種多様な動植物、受け継がれる伝統
芸能や風習、信仰などなど。

このような文化的価値の高い遺産は、
人類共有の宝として「文化財」に指定
され、法律などによって保護されなが
ら、次の世代に受け継がれていきます。
現在、市内には、144件の文化財(国
23件、県16件、市105件)があります。
同規模の自治体でこれほど多くの文化
財を有しているところはあまりありま
せん。また国・県の指定文化財が多い
のも大きな特徴です。

案内 文化財図録を発売中!

平成20年3月、市内の文化財をまと
めて収録した『糸魚川市の文化財』を
出版しました。持ち運びに便利なA5
サイズ、全151ページ、オールカラー。
巻末には「文化財展示施設一覧」「所
在マップ」も収録、価格は、冊子・C
D版ともに千円です。

当館では、窓口販売のほか、通信販
売にも対応しています。興味のある方
は、ぜひお買い求めください。



良寛生誕250年展

良寛さまの生誕250年にあたり、良寛
研究の第一人者として活躍した相馬御
風の功績を紹介するミニ企画展を約一
年間にわたって開きました。

第一弾は「良寛遺墨展」、第二弾は
「良寛周辺の人々」、第三弾は「相馬御
風の良寛研究」と題して、御風の研究・
収集資料を中心に紹介しました。

御風作品が清水寺へ

平成20年12月6日から12日までの7
日間、京都清水寺圓通院で開催された
「第15回 古と優艶の書画展」で、当館
所蔵の良寛および御風作品が特別展示
されました。

同展は、懶世界文藝社が、京都府や
京都市観光協会等の後援と清水寺の協
力を得て毎年開いているもので、新進
気鋭の書道家が作品を発表する場とし
て知られています。

また、趣向をこらした特別展示が人
気を集めており、過去には、与謝野晶
子や勝海舟、一休宗純、本阿弥光悦、
武田信玄、紫式部などの名品が展示さ
れています。

今回のテーマは「良寛」であり、当
館から良寛遺品「手毬」、良寛賛亀田
鵬斎画「良寛と子供の図」、良寛書状
ちきりや宛「てまりひとつ」と橋左門
宛「二両日は」、相馬御風書良寛詩

「担薪下翠谷」
のあわせて五
点を出品。京
都へ紅葉見物
に訪れた観光
客や近畿地方
のみなさんに
御風をPRす
ることができ
ました。

